

朝田善之助 社会運動家。生涯部落解放運動を指導。

あさだぜんのすけ

教科書疑獄・1902 = 京都府愛宕郡村(京都市左京区)で三男に生まれた。

日露戦争終・1905 = 3歳 :

大逆事件判決1911 = 9歳 :

明治天皇没・1912 = 10歳 :

本格政党内閣1918 = 16歳 : 米騒動に参加。

大暴落・・・1920 = 18歳 :

原敬首相暗殺1921 = 19歳 :

水平社結成・1922 = 20歳 : *全国水平社(全水)創立大会に参加し, 田中水平社・京都府水平社を創立。

護憲三派圧勝1924 = 22歳 : 公会堂事件のため, 半年間服役。

治安維持法・1925 = 23歳 : スパイ問題で辞職した委員長名で府県会議が招集されると, 乗込んで中止させ, 全国水平デー記念講演会で篠崎蓮乗を殴る。結婚。{全水青年同盟}を結成し, 中心となって活躍。

円本時代始・1926 = 24歳 : 京都興村電機・浜松日本楽器のスト応援。全国水平社労農党支持連盟発起人。

共産党事件・1928 = 26歳 : <三・一五事件>で水平社指導部が潰滅した後, 本部を再建し, 理事・中央委員となった。

世界恐慌・1929 = 27歳 : <四・一六事件>に先立ち検挙され, 拷問を受け, 逃走。全国水平社大会に参加して逮捕されるが釈放。

海軍軍縮条約1930 = 28歳 : 洛北友禅工・京都市バスの労働争議を指導, 労農党系の京都労働組合総評議会執行委員長に推される。

満州事変・1931 = 29歳 : 「全水解消意見」を提出して波紋を投げかけ,

五一五事件・1932 = 30歳 : 人見亨を指導して養正少年団(ピオニール)結成。_{全国水平社解消闘争準備委員会}を組織したが, 京都市議選に立候補して落選。自己批判して部落委員会活動の方針を提起した。この新方針は同年からの高松地方裁判所差別裁判事件で実践され, 差別判決取消要求の請願行進副隊長となった。

国際連盟脱退1933 = 31歳 : 京都メーデーの総指揮者。差別的小説・映画・演劇を糾弾。

芥川直木賞始1935 = 33歳 : 京都市会課長の差別糾弾闘争。再び, 京都市議選に立候補して落選。

日中戦争始・1937 = 35歳 :

健保+総動員 1938 = 36歳 : 京都市役所厚生部に勤務し,

第二次大戦始1939 = 37歳 : 部落厚生皇民運動に転向して参画したため,

大政翼賛会・1940 = 38歳 : *全水から除名された。

日米開戦・1941 = 39歳 :

敗戦・・・1945 = 43歳 : 敗戦後, 解放運動の再出発を誓い,

新憲法公布・1946 = 44歳 : *京都市役所を退職し, 結成された部落解放全国委員会(後に部落解放同盟と改称)の常任全国委員,

新憲法施行・1947 = 45歳 : 京都府議に立候補して落選。

極東裁判決・1948 = 46歳 : 中央執行委員となる。

三大事件・・・1949 = 47歳 : 京都製革会社内の紛争で, 共産党を離党。

独立回復・・・1951 = 49歳 :

国連加盟・・・1956 = 54歳 :

安保闘争・・・1960 = 58歳 :

TV宇宙中継始1963 = 61歳 : 副委員長,

大学紛争始・1965 = 63歳 :

いざなぎ景気1966 = 64歳 : 同盟第一次訪ソ代表団団長として, ソ連・東欧各国を歴訪。

美濃部都知事1967 = 65歳 : 松本治一郎のあとを継いで中央執行委員長となり,

全共闘ビーク・1969 = 67歳 : 自伝「差別と闘いつづけて」,

沖縄返還・・・1972 = 70歳 : 「解放運動の基本認識」,

石油ショック1973 = 71歳 :

角栄金脈辞任1974 = 72歳 :

クランプール事件1975 = 73歳 : *退任。

中曽根内閣・1982 = 80歳 :

ディズニープ・1983 = 81歳 : 没した。

部落解放国策樹立要求全国闘争・同和对策審議会答申完全実施要求闘争'狭山事件裁判闘争などの推進にあたって, 基本命題を提起, 様々な論議を呼んで, 「朝田理論」と呼ばれるようになった。

インターネットWikipedia,